



## 平成22年度 青森田中学園各施設教育方針

### 青森中央学院大学

本学は、認証評価において、建学の精神及び大学の使命・目的に基づく教育研究活動と社会連携が優れた点として、留学生の語学サポーター派遣システム等の地域密着型教育が特記事項として評価されたが、同時に更なる質的向上が期待された。本年度は、この結果を受けて、現在社会から期待される基礎的学習能力、専門的基礎知識、一般的教養、社会性等を備えた人材の養成に向けた教育を前進させなければならない。FDによる教育力の向上とともに、海外・地域連携、体験型学習、学習・キャリア支援等の各種プログラムによって、幅広い層の学生の多様なニーズに対応した学習機会を提供していくことが基本目標である。

### 青森中央学院大学大学院

大学院に対するニーズの多様化に対応して、学生の進路に合わせた柔軟な指導体制を整える。すなわち、従来の「研究者養成」だけでなく、高度の専門知識・技能を身につけた職業人の養成も主要な目標とする。

### 地域マネジメント研究所

青森県の産業活動や社会活動などの研究を深めていくと共に、県や市町村などからの受託調査や外部機関との共同調査、学内の共同研究などに積極的に取り組んでいく。また、適切なテーマ設定によるシンポジウムやセミナーを実施して、地域住民との交流を深めていく。さらに、県内の企業・団体などと共同研究会を発足させ、事業課題の研究や新たなビジネスモデル等の検討などを行う。

### 青森中央短期大学

学生が学びたい時に存分に学べる学習環境は、学習支援センター、各種講座、オフィスアワー、体験学習プログラム、図書館の利用サービスなど、システムや支援体制はかなり整えられた。今一度学生の満足度を検証し、教育サービスを充実させていきたい。

FD・SD活動を活発にして、教職員の教育力・研究力の向上に努め、地域に密着した教育機関としての役割を果たしていきたい。具体的には、質の高い専門職の育成と地域の活性化につながる事業への参画などである。

### 青森中央文化専門学校・青森中央経理専門学校

専門学校の特色にリンクした職場への就職率向上を目指し、社会ニーズの把握や企業開拓等体系的なキャリア支援を実施する。

学生と教職員の信頼関係を築き、授業マナーの向上や少人数だからこそできる指導・学習を提供する。また、コミュニケーション能力を高め、学生自らプロモーションできるよう自己啓発の意識を高めさせる。

### 附属幼稚園・保育園

子どもたちが、現在を最もよく生き、望ましい未来を創り出せるように、生きる力の基礎を培っていきたい。そのために、水遊び、英会話遊び、ことば遊び、数遊び、リズム・体育遊び保育の五つの特色ある保育内容を全ての活動に積極的に取り入れ、保育の充実に努めていきたい。

こぶしの花



青森田中学園報  
「こぶしの花」第77号  
発行・編集：「こぶしの花」編集委員会  
発行日：2010年5月13日発行  
〒030-0132 青森市横内字神田12番地  
tel: 017-728-0131  
fax: 017-738-8333  
http://www.aomoricgu.ac.jp  
http://www.chutan.ac.jp

## 学校法人青森田中学園

理事長 石田 憲久



### 「学園の中長期的な ビジョンの確立を」

本年は、大学院・大学学部・短期大学各学科・専門学校共に、昨年を上回る499名の清新にして志高い新入生を迎えることができました。

また一昨年の短期大学における第三者評価、昨年の大学院・大学学部の第三者評価共に、「適格」であるとの認証をいただきました。これも偏に学園関係者の日頃からのご努力と地域の多くの方々のご支援のおかげであると心から感謝申し上げます。

その意味でも本年は、これまでの自己点検・評価及び第三者評価の結果を踏まえて、学園各設置校が将来に向けてどうあるべきかの中長期的なビジョンを確立し、これからの教育研究活動・地域連携事業のあり方を追求し、真に地域貢献に寄与しうる高等教育機関の役割を果たしたいと念じています。そのためにも、FD・SD活動を通じた教職員の一層の資質の向上、学習支援・キャリア支援・学生サービスの向上等の学生支援諸施策及び地域社会とのより深い連携を推進するなど、これまで培ってきた諸施策を更に充実したものとし、地域の皆様にも「顔」の見える情報発信に積極的に取り組んで参ります。また、本年は青森中央短期大学の創立40周年の節目に当たる記念すべき年ですので、様々な記念事業を実施して、地域の皆様との交流を一層深める機会とさせていただきたいと存じます。

## 青森中央学院大学

学長 中村 信吾



### 「新たな一歩」

平成21年度における日本高等教育評価機構の評価では、本学は細かい点はいくつか指摘されたものの、公表すべき改善点は特になく合格点をクリアした。とって安心していいものではない。

本年度はFDを強化し、授業体系を見直さなければと思う。開学から十年余、カリキュラムの大きな変更はなかったが、社会情勢や教育環境の変化が急速に進む現在、カリキュラムも、いま1度見直す必要がある。

コンピュータが出現して以来、関連した機器類の発達は目を見張るものがある。日常の言語までが携帯用語になってきたと言われる。時には機器に人間が使われているのではないかと思う。こういう時代だからこそ、思考力、読書力、作文力等の強化に取り組まなければならない。教養科目と専門科目とそのバランス、リメディアル教育やキャリア教育等の配置、その他。そして根本的な課題として、本学の建学の精神と教育理念との整合性。しかも、教育の影響は何十年もの未来に及ぶものであり、当然カリキュラムの変更は慎重にしなければならない。

ゆっくりと慎重に、じっくりと腰をすえて取り組み、本学にしっかりと合せて、第三者がびっくりするような特色あるカリキュラムができたらと思う。

## 大学院地域マネジメント研究科



研究科長 菊地 和 聖

当研究科は開設以来、6年が経過し、最近では、定員を大幅に超える希望者が応募してくるようになりました。彼（女）らは、よりよい企業への就職、公務員試験の受験準備、税理士資格の取得、博士課程への進学、キャリアアップなど、さまざまな目的をもって入学してきます。

また、当研究科は、優秀な外国人留学生を多数、受け入れていることでも定評があります。

この意味で、当研究科は、①地域密着・地域重視と②国際性という2つの特徴を柱に運営しているのです。



## 青森中央短期大学

学長 久保 薫

「開学40周年に  
あたって」



283名の希望に満ちた  
新入生を迎え、平成22年  
度をスタートできうれし  
く思います。

本年は、青森中央短期  
大学開学40周年にあたります。この節目の  
年を目前に、あらためて本学の創立からの  
教育の原点を見つめ直してみました。そし  
て、本学の使命は、創立者久保豊先生、久  
保ちゑ先生の創立時の願い通り、自立を可  
能にする実学と豊かな人間性を身につけ、  
社会を構成する一員として誇りを持って社  
会貢献できる人材の育成であることを確  
認することができました。この「建学の  
精神」に基づいて、アドミッション・ポリ  
シー、カリキュラム・ポリシー、ディプロ  
マ・ポリシーの3つの方針を明確にすること  
ができました。今年度は、教職員一同、  
その方針に沿って、一層明確な共通認識を  
持ち、教育にあたることができるのもうれ  
しいことのひとつです。

また、本学の将来像を、様々な角度から  
冷静に分析した上で、描いていくことも節  
目の年にすべきことと考えています。未永  
く、地域に貢献できる人材を輩出し、地域  
に信頼される教育機関であるための中長期  
計画スタート年としたいと思います。その  
ためにも、今年度も「短期大学士」にふさ  
わしい教養、「栄養士・保育士・看護師・  
介護福祉士」に値する実力が保障された人  
材育成を、責任を持って真摯に続けて参る  
所存です。

## 青森中央学院大学地域マネジメント研究所



地域マネジメント研究所では、研究員の数多くの自主研究成果を研究年報とし  
て発刊してきました。また、「限界集落と母都市との有機的連携に関する研究」  
や「メディカルツーリズムに関する研究」など、その時々、社会的なニーズに応  
えて様々な受託調査研究を実施して参りました。今後もこれらの活動を着実に拡  
充していくと共に、地域企業などとの研究会や新たな事業モデル・社会システ  
ムの構築・検討などにも力を注いでいきます。

## 青森中央経理専門学校

校長 石田 憲久

本年も、ビジネス・医療の現場で活躍が期待され  
る意欲溢れる新入生を迎えることができました。簿  
記・IT・ビジネス分野・医療分野に加えて、来年  
には観光分野での有為な人材を養成することを目的  
に、「観光コンシェルジュ」コースを開設します。  
実学指向の本校は、知識と技術の証である専門資  
格・検定の取得とコミュニケーション能力・組織人  
の素養を身につけることを目標とします。

## 青森中央文化専門学校

校長 久保 薫

入学生は設置校の中で一番少ないのですが、服作  
りが大好きな学生が入学して来ることが何よりもう  
れしく思います。この「好き」という気持ちが、学  
習意欲につながり、根気のいる縫製作業を成し遂げる  
原動力になっているからです。

今年は、身につけた専門性が就職に結びつくよ  
う、たくさんの資格取得はもちろんのこと、IT技術  
やコミュニケーション能力、社会常識など実践面で  
必要とされることをカリキュラムに盛り込みました。

## 青森中央短期大学附属幼稚園

幼稚園でも生きる力の基礎を育むことの重要性が  
問われています。

本園では、先ず目的に応じた環境構成の工夫と子  
どもの思いや願いを表出させるための支援の工夫に  
意を注いでいきます。

子どもの発達段階に応じて、園生活に慣れ親しむ  
ことや興味・関心を広げたり深めたりするすること  
が必要であると捉えます。これらは保育者と子ども  
達同士との関わりを通して培われるため、日々、質  
の高い保育実践を目指していきます。

研究所長 内山 清

## 学園共通

各センター長から

### 入試広報センター

センター長 齋藤 正彦



入試広報センターは、開設5年目を迎え、より結果を求められる節目の年となります。

よりレベルの高い広報活動により、県内はもとより、県外への積極的な活動、また、高校生や受験対象者だけでなく、本学を広く社会に対して紹介する、いわゆる「大学広報」に今年度は力を注いで参ります。

以下の事項を重点施策として、進めて参ります。

1. 学内の学術的な情報や、学生の取り組みの成果や情報を積極的に発信し、本学の認知度を高める。
2. 入学試験は、大学が最初に行なう教育であるとの認識を持ち、教育的にも特色のある入学試験の実施に取り組む。
3. 学生募集の効率化、エリアの拡大を目指す。

以上の方針に沿って、節目となる今年度をよりよい年にできるよう活動して参ります。

### 国際交流センター

センター長 大泉 常長



「国際交流センター」では、国際交流の促進と地域貢献活動を通じ、国際人として活躍できる人材の育成を使命とし、本学に集うアジア・欧米からの留学生と日本人が、共に手を携えて地域や海外の人々と多様な交流経験を楽しみながら、郷土を愛する心と世界に対する広い視野を育んでもらえるような教育とサービスの提供に努めていきます。

本年度も、国際語学サポートセンターを核とした地域貢献を目指すのはもちろんのこと、より多くの日本人学生が海外留学にチャレンジできるように語学準備講座を充実させ、これまでの豊富な留学実績に基づいた、きめ細かな留学サポートを行っていきます。

### 学習支援センター

センター長 高橋 興



学習支援センターは、学生たちの確かな学びをサポートする目的で設置されており、今年度は次のような活動をします。

第一に重視するのは修学支援です。学生たちの出欠や単位修得状況等の把握に努め、ゼミ担当教員やサークル顧問等との連携を強め、四年間学び続けられるよう支援します。

第二は、苦手になっていることの「学び直し」に対する援助です。「数学」「文章表現」「化学・生物」などの初歩から就職試験対策レベルまで、ていねいに指導します。

第三には、学生たちの様々な悩みについて、センターのスタッフが相談を受けます。

第四は、サークル活動の支援です。運動系サークルの一層の充実を図るとともに、文化系サークルの充実を支援します。

こうした活動の他、資格取得や転・編入学、大学内外の体験的な活動機会などの情報収集と提供なども行います。学生たちがセンターを積極的に利用することを期待しています。

### キャリア支援センター

センター長 平出 道雄



昨年11月の政府デフレ宣言から本年3月の景気判断は、やや持ち直しの上方修正発表になった。しかし、雇用に関しては依然厳しい見解になっている。就職戦線は一段と厳しい局面にあるが、重要なのは先行行動することで、今年度は次の施策を果敢に先行行動していく。

1. 先行就職活動の展開支援～①企業説明会情報提供の徹底による学生全員参加支援、②学内企業説明会早期実施と充実強化、③企業先行訪問、④優良企業懇談会の早期実施
2. 実践力養成強化～①重視されるエントリー記述の実力養成強化、面接力アップ養成強化、②インターンシップ・ワークショップ・トークサロン等の実践キャリア授業参加率のアップをはかる、③学生の企業積極訪問支援

### 図書館情報センター

センター長 加藤 澄



年々、図書館施設におけるハード、ソフト両面における整備が急ピッチで進められてきている。昨年度は、図書館前のスペースにカフェ・コーナーを設け、学生が図書館利用の合間にくつろげる空間を設けた。また、開館時間の延長をはじめとする学生の利便性を高めるための様々なサービスの充実により、図書館利用者の数が大幅に伸びている。これは昨今の学生の活字離れを考えれば大変喜ばしい傾向である。今年度も、さらなるサービスの向上をはかり、地域住民を含めた図書館の利用率を高めていきたい。

今年度は、特に短大40周年記念の展示や記念誌の編集、相互貸借サービス受付準備、閉架式図書館の蔵書整理といった大きな課題が控えている。これら目白押しの課題を抱えながら、スタッフ一同、意欲的に取り組む所存でいる。

### 学生相談室

室長 石井 康太郎



学生相談室は、学生の皆さんが日頃抱えている悩みや学校生活に関わる適応上の問題を解決し、皆さんが楽しく、有意義な学校生活を送ることができるよう支援しています。

相談については、真剣に耳を傾け、その時々々の悩みや感情を受け止めながら一緒に考え、解決の方法を探っていきます。相談室で受け付ける事柄は、自分自身に関する事、人間関係に関する事、健康に関する事、禁煙に関する事、ハラスメントに関する事、家族に関する事などです。

相談員は、学生相談アドバイザー、臨床心理士、看護師です。悩みや相談ごとがあったら一人で抱えこまないで、気軽に相談室に足を運んでください。なお相談室の利用方法等については、「学生相談室のご案内」をご覧ください。



## 情報システムの拡充について

図書館情報センターでは、昨年度末に、ICT活用による学生サービスの更なる向上を目的に、学内ポータルサイトの機能強化と教務関係情報システムのバージョンアップを実施した。

新たな学内ポータルサイトの機能は、WEBによる求人票の閲覧、就職活動カルテの作成、就職セミナー情報等のキャリア支援と、eラーニングによる小テスト、出欠管理、クラス掲示板等の機能が追加された。また、教務システムは学籍や成績管理、各種証明書等の発行を行うシステムで、今回のバージョンアップで学生情報の管理や事務処理速度の向上が見込まれている。

図書館情報センターでは、今後もICTを活用し、学生サービスの向上と適確な事務処理を行えるよう、情報システムを整備していきたい。

## キャンパス内全面禁煙

本学園は、平成22年4月1日からキャンパス内全面禁煙を実施する。健康増進法第25条の遵守及び、①敷地内での喫煙防止 ②学生の喫煙習慣の改善 ③学生・教職員の健康維持・増進を目的としています。

美しいキャンパスを維持・向上させるためにも学園全体で取り組んでいきたい。ご協力お願い致します。

## 書道部活動中！

書道部は昨年、16名の新入部員を迎えた。「書道が好き」「やってみたかった」など入部理由は様々だが、熱心な練習の合間、留学生と日本人学生が仲良く語らう姿が見られ、「友だちに会える」ことが入部後の大きな楽しみになっている。昨年の翔麗祭では、部員が協力して「書」の字を大筆書きした。和気あいあいながら真剣に取り組む練習風景は、東奥日報や青森ケーブルテレビにも取材された。総理大臣賞受賞の書家、三原有船先生が丁寧に教えて下さるのも魅力である。毎週1回心を静めて筆遣いに集中するのもいいもの。興味がある方は木曜の放課後、2号館2階へどうぞ。



## 教員免許更新講習

平成21年4月より、教員免許更新制が導入され、満35歳、45歳、55歳の現職教員・教員採用内定者は必ず更新講習を受講し、更新手続きを行うことが義務付けられた。本学園でも、この制度を受けて、昨年度より地域の高等教育機関と連携をとりながら、各設置校の特色を生かした教員免許更新講習を実施している。今年度の講習日程・内容については以下の通りである。不明な点は、県教育委員会へ問い合わせ願いたい。

選択領域

問合せ先 本学事務局 TEL 017-728-0131

日 程	対 象	時 間 数	講習の開催地	主 催
7月30日(金)	教諭	6時間	本学	青森中央学院大学
テーマ	しなやかに、賢く生きるための経済・法律リテラシーの養成(I) —「労働」を鍵概念として—			
7月31日(土)	教諭	6時間	本学	青森中央学院大学
テーマ	しなやかに、賢く生きるための経済・法律リテラシーの養成(II) —「消費者」を鍵概念として—			
8月2日(月)	教諭	6時間	本学	青森中央学院大学
テーマ	しなやかに、賢く生きるための経済・法律リテラシーの養成(III) —「企業」を鍵概念として—			
8月16日(月)	教諭 養護教諭	6時間	本学	青森中央短期大学
テーマ	食に関する話題を教育活動に取り入れるツール			
8月17日(火)・ 18日(水)	幼稚園教諭	6時間	本学	青森中央短期大学
テーマ	子どもの運動能力と運動指導			

# 青森中央学院大学

## 平成21年度 青森中央学院大学 機関別認証評価において「適格」認定

これまでも多くの大学で自己点検あるいは外部のいわゆる第三者による点検が行われ、大学の現状を良い点、悪い点をそれを次の発展に利用してきた。

平成16年度より、すべての大学、短大、高専は7年に1度、認証評価機関（文科省により認定された評価機関）による評価が義務づけられた。外部からの一定の基準により評価されると、評価される大学の良い点悪い点などの大学自身が気がつかなかった点も明確になるため、点検の意義は大きい。認証評価機関には、現在は大学基準協会、大学評価・学位授与機構、日本高等教育評価機構の3つの機関がある。

平成21年度、本学は日本高等教育評価機構による第三者評価を受審した。本学が作成した自己点検書を中心に、機構から指定された各種の書類やデータなどを書面審査のため21年6月末に提出、この書面審査に基づいて面接と学内施設の調査が10月7、8日の両日にわたり行われた。評価委員として他大学の教職員による本学への実地調査である。評価項目は10項目あり、評価の結果は以下の通りである。本学が力を入れている国際交流や少人数教育は対象項目にならないため、特記事項として扱わざるを得なかった。この点は遺憾であった。教職員及び学生へのヒアリングもあった。基準を満たしていない項目があると、社会に公開しなければならない場合があったり、評価が保留される場合もある。本学の場合は各項目について、改善を要するとして指摘された点はなかった。各基準合格は、大学として最低限の条件であり、今後これらの基準より、さらに高い質を目指して進むことが当然であることは論を待つまでもない。

青森中央学院大学 学長 中村信吾

総評と、基準ごとの評価の中で優れた点については以下のように述べられた。(抜粋)

### 優れた点と評価できる事項

#### 基準2. 教育研究組織

- ・キャリアプランニングとしてキャリア・ガイダンスを1年次から実施し、基礎学力向上のためのプログラムが設置されている点は高く評価できる。

#### 基準3. 教育課程

- ・在学期間を通じての大学の評価を確認するため、卒業する学生に対して卒業生アンケートを実施して、授業改善に役立っている点は高く評価できる。

#### 基準6. 職員

- ・図書館内には、図書館事務職員が果たすべき使命としての「ミッション・ステートメント」が掲げられ、図書館スタッフの行動指針になっている点は高く評価できる。

#### 基準9. 教育研究環境

- ・留学生の多い学生寮、学術交流会館の緊急放送システムにおいて、日本語と英語の自動避難誘導放送を行うなど留学生に対する安全対策を講じていることは高く評価できる。

#### 基準10. 社会連携

- ・学生団体による「災害&緊急支援チームDEST(Disaster Emergency Support Team)」が結成され、地域の高齢者世帯の雪下ろしなどの積極的な取組みは、大学の教育目的の具現化の一例であり高く評価できる。
- ・国際語学サポートセンターを設置し、留学生を地域の教育支援、通訳、翻訳、イベントの支援などに派遣し地域社会と積極的な連携が図られていることは高く評価できる。



## I 認証評価結果

### 【判定】

評価の結果、青森中央学院大学は、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしていると認定する。

### 【認定期間】

平成21（2009）年4月1日から平成28（2016）年3月31日までとする。

### 【条件】

特になし。

## II 総評

大学は建学の精神を「愛あれ、知恵あれ、真実あれ」と示し、これを理事長が教職員に対して学園辞令交付式・学園合同研修会において講演するとともに、学長が学生及び教職員に対して入学式・新入生オリエンテーションなどの講話で伝え周知している。

教育研究組織は、経営法学部経営法学科の1学部1学科で設置、大学院については修士課程を設置している。学園全体の横断的な組織として、地域マネジメント研究所並びに附属機関として7つのセンターが整備されており、これらは教育研究上の目的を達成するために適切な規模と連携が保たれている。

教育課程は、大学及び大学院ともに建学の精神に基づき教育目的が設定されて学則などに定められている。学部又は研究科ごとに教育課程の編成方針が設定され、学部は「コモンベーシック科目群」「教養科目群」「専門科目群」の3層構造として配置されており適切な編成がなされている。

アドミッションポリシーは、大学全体及び募集単位ごとに明示されており、それに基づいた入学者選抜が行われている。またキャリア教育については、「キャリアプランニング科目」の充実や、地域・企業と連携した「課題解決・参加型」プログラムを導入するなど支援体制が整備されている。

大学の専任教員数は31人であり大学設置基準上の必要専任教員数26人を満たしている。

そのうち、教授13人中定年年齢を超えた特任教授（1年更新）が5人含まれている。専任教員と兼任教員の比率は適切である。

職員組織は、「学園組織規程」に基づき事務局長以下業務内容に応じた適切な人員構成で編制されている。また、職員の採用・昇任・異動については、理事会や「部局長会議」などの審議、予算などを考慮の上で運用されている。

管理運営体制は、「学校法人青森田中学園寄附行為」に基づき、理事会、評議員会、監事などにより適切に運営されている。また「部局長会議」が大学運営の重要事項及び教授会附議事項に関する協議・調整機関として組織され毎月1回開催されている。

財務は、大学の収容定員に対する在学生の割合が7割を切る状況で、学生生徒等納付金収入など

も横ばいの状態であるが、経費削減に努め、学園整備準備預金などの資産を有し財政の健全性を維持している。

教育研究環境は、同じキャンパス内に同法人の短大や専門学校が設置されており、収容定員に対して十分な校地面積と校舎面積を有している。

社会連携として、大学が有する図書館や体育施設などは地域社会にとって貴重な物的資源であることから、大学は地域などの要請を踏まえて原則無料にて積極的に開放している。

また、公開講座や語学講座、教員免許状更新講習などを通して大学の教職員や留学生の人的資源を社会に提供している。

社会的責務は、法学系の大学でもあることから「危機管理規程」などの諸規程が、社会機関として必要な組織倫理として規定されており、それらの諸規程に基づき、組織的に適切な運営がなされている。

なお、特記事項では3項目にわたる取組みを記載しているが、特に大学が開学以来地域密着型教育を実践しており、国際グリーン・ツーリズム協力員配置事業、語学サポーター派遣システムなどさまざまな分野で地域と積極的な連携活動が展開されていることは特筆できる。

総じて、若干の改善すべき点は見られるが、建学の精神及び大学の使命・目的に基づく教育研究活動、社会連携などにおいては優れた点もあり、今後、参考意見などを踏まえて更なる質的向上を期待したい。



# 青森中央学院大学

## キャリア支援センターより

### 第9期生

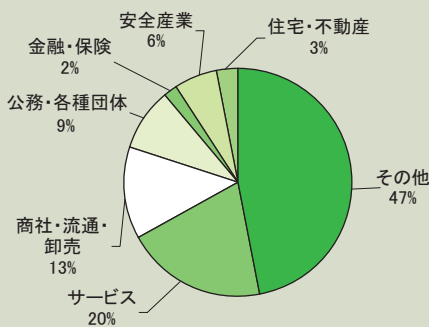
### 就職・進学

就職氷河期時代を上回る厳しい雇用情勢は、文部科学省ならびに厚生労働省が3月12日付けで発表した大学生の就職内定率80%という、一昨年同期比で2.4ポイント低下した平成20年度を、さらに6.3ポイントも下回る数値となって現れた。

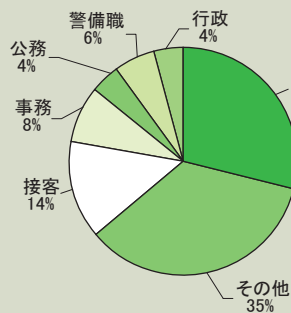
わけても北海道・東北地区は過酷な求人難で、内定率も全国平均以下の70%台が現実である。こうした状況でも本学学生は最後までよく健闘し、内定率も、昨年、一昨年の90%台後半という好成績には及ばなかったものの、90.2%（日本人学生）を確保した。さらに既卒者全員が就職先を確保できるよう、卒業後も引き続きフォローアップを行っていきたい。また今年には本学よりはじめて公務員地方上級職合格者を出し、卒業生に県庁職員が誕生した。全国有名大学学生たちに互しの快挙である。

青森中央学院大学は、就職難の時代でも学生の一人一人に活躍の場が見出されるよう、これからも、キメの細やかな就職指導に努めていくつもりである。  
(鈴木克成教授・キャリア支援委員会委員長)

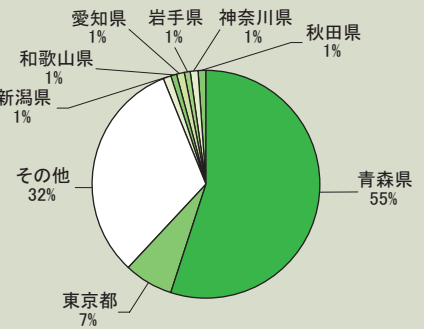
職種別



業種別



勤務地別



## 巣立ち

平成22年3月17日、青森中央学院大学第9期生、そして同じく大学院第5期生の卒業式がとり行われた。例年、この日は、教職員一同、立派に成長した卒業生を前にして、感無量の境地となる。大学教育に携わる立場として、見違えるように成長した学生を実社会に送り出すこの瞬間は、栄誉の時と言える。学生達の新しい門出に心より祝福を送りたい。



## そして新たなスタート

平成22年4月6日、青森中央学院大学は第13期生、同じく大学院第7期生を迎え、入学式が厳かに行われた。新たなスタートである。本州最北端の地では、桜の開花には間に合わないが、蕾の方が新たなスタートにはふさわしいかもしれない。緊張した面持ちの学生達が、健やかで実り多い学生生活を送れるよう、教職員一同、万全の態勢で臨む所存である。



## マニフェスト・フォーラム青森開催

地域社会活動委員会主催の特別公開講座として、3月6日、「マニフェスト・フォーラム青森」が本学の学术交流会館で開催され、行政関係者や市民ら約300人が参加した。フォーラムでは、基調講演として、前三重県知事の北川正恭早稲田大学大学院教授が、「マニフェストを起点とした創発型地域づくり」と題して講演、マニフェストが選挙の標準装備として定着したことを強調、また、パネルディスカッションでは、「マニフェストが変える青森の政治と行政」をテーマに、鹿内博青森市長等にご参加いただき、マニフェストと行政、地方議会との関わり合い等について活発な議論がくり広げられた。





### オリエンテーション・キャンプへ

今年も恒例の『新入生オリエンテーションキャンプ』が昨年同様、岩木青少年スポーツセンター（弘前市）にて、4月9日、10日と、1泊2日の日程で開催された。

初日は、開講式後に、新入生ガイダンスが行われ、建学の精神や本学の教育方針・教育課程等について学んだ。その後、基礎演習ガイダンス、留学生のコミュニケーションゲーム、スポーツ大会、学友会主催の歓迎会が行われ、新入生同士、また、教職員との親睦を深めた。2日目には、「本学のイメージアップにつながるオリジナルグッズの開発」というテーマでグループ・ワークを実施し、各グループから色々なアイデアが出された。

学生は、初めて顔を合わせるメンバー同士のため、最初は緊張した面持ちであったが、終了時には笑顔も増え、充実した意義のあるものとなった。新入生の今後の4年間の学生生活が充実したものとなるよう、教職員一丸となって学生を支援していきたい。



### 平成21年度青森市スポーツ賞受賞おめでとう

去る2月23日、平成21年度青森市スポーツ賞の表彰式がホテル青森にて行われ、本学サッカー部が団体として、柔道部の長谷川太一選手、およびボウリング部の根深滯選手が個人として、青森市スポーツ奨励賞をそれぞれ受賞した。

この青森市スポーツ奨励賞は、国内で優秀な成績を収めた個人や団体に対し、その功績を称えるもので、今回は94人25団体が受賞したものである。



### ボウリング部全国大会へ参加

ボウリング部は、創設1年目でありながら、年間を通じてメジャーな全国大会に出場してきた。とりわけ、10月に広島県で開催された将来有望なボウラーが集まる登竜門の大会である全日本新人ボウリング選手権では、根深滯が第3位でメダルを獲得し、主将の須藤透も決勝予選上位通過で、「選手権者決定戦出場賞」を受賞するという好成績を収めた。また、2月に東京都で開催された全日本大学個人選手権大会では、根深が準決勝まで進出した。新年度は、さらに新1年生が加わり、今後も益々の活躍が期待される。



### 2009東北学生選抜室内テニス選手権大会 男子ダブルス準優勝 三浦俊・川越史 ペア

あと1つで東北制覇というところだったので、正直悔いも残るが、今後につながる良い勝負ができたと思う。学年の違うペアなので、コンビネーションが上手く行くか、正直不安もあったが、お互い青森西高テニス部出身の先輩・後輩でもあり、普段から切磋琢磨し合っていることもあって、恥ずかしくないダブルスの試合ができたと思う。春の大会では、シングル・ダブルスともにインカレ目指して頑張りたい。

硬式テニス部主将 三浦俊（経営法学部4年）



## 国際交流

### 【台湾からのグリーン・ツーリズム型修学旅行誘致事業】

本学は県や十和田市と連携して、アジアからグリーン・ツーリズム型修学旅行の誘致活動を展開している。去る1月、高雄市立陽明国民中学の修学旅行（18名）を十和田市で受け入れ、本学留学生も語学サポーターとして双方の橋渡しをした。2月には、中華民国全国家長会・台湾国際教育旅行連盟（18名）を招待、グリーン・ツーリズムの状況や観光資源を紹介するとともに青山副知事を表敬訪問し、意見交換を行った。



陽明国民中学

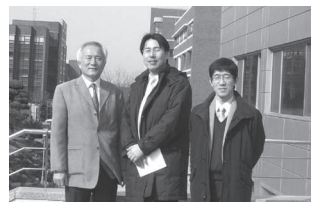


中華民国全国家長会・台湾国際教育旅行連盟

### 【大韓民国南ソウル大学校訪問】

本学の国際交流推進を目的として、3月12日から13日にかけて南ソウル大学校を訪問した。首都ソウル特別市の南約70kmの忠清南道天安（チョナン）市にある私立大学である。1993年に「智・徳・愛」を教育理念として設立され、現在は学生数12000人に及ぶ総合大学に発展している。日本語学科の学生を中心に日本へ交換留学生を送る等、日本との国際交流も展開している。大学施設を見学するとともに日本語学科及び税務会計学科の国際交流担当者らと面会し、本学との関係構築の可能性について協議した。

（大野和巳教授・学務委員長）



南ソウル大学校日本語学科 安教授（左）、青森公立大学 丁教授（右）と共に



南ソウル大学校キャンパス

# 青森中央短期大学

## 新たなスタート

## 平成22年度入学式



### 新入生オリエンテーション

新入生がいち早く学生生活に慣れて生活が出来るようにと、恒例の新入生オリエンテーションが今年も行われた。特に歓迎会では在校生が中心となって企画し、昼食を共にとりながらわいわいがやがや交流を深めた。先輩から得た情報や先輩とのつながりは、今後の学生生活を大いに助けてくれることだろう。

短期大学が40周年を迎える記念すべき今年度、食物栄養学科73名、幼児保育学科96名、看護学科98名、専攻科福祉専攻16名の新生を迎えた。久保学長からは「大学は目的を持って自ら学習するところ。短い学生生活を有意義に使うて欲しい」との励ましの言葉がかけられた。新入生は緊張感をもちつつ、心を新たにしたことであろう。新入生代表の幼児保育学科 坂井佳恵さんの芯の通った宣誓は、これからの意欲を感じさせるものであった。夢に向かって厳しい入学試験をくぐり抜けてきた、その時の気持ちを忘れずに頑張りたい。



### 食物栄養学科 中西 鮎美

(田名部高校卒業)

私はこれまで栄養士について漠然とした知識しかありませんでした。しかし、入学前サポートプログラムを通して栄養士がどのような職業なのかということや、その奥深さも知ることが出来ました。これからは入学前サポートプログラムで学んだことを踏まえ、より多くの教養・知識や技術などを身につけ、優しさと厳しさを兼ね備えた、周りから信頼される栄養士を目指し努力していきたいです。

### 幼児保育学科 佐藤 翔太

(木造高校(深浦校舎)卒業)

私が幼児保育学科を選んだ理由は、充実した実習や演習を体験することにより、実践的なことを学べると思ったからです。短大入学前にも何度か保育体験をしたことがありますが、これからの学びの中では保育者の役割とは何かを常に考え、自ら課題を見つけて取り組みたいと思っています。

また、ピアノの練習にも積極的に取り組み、演奏能力の向上を図りたいと考えています。短期大学は忙しく大変だと思いますが、目標を高く持ち、何事にも積極的に取り組みたいと思っています。



## 新入生の抱負



### 看護学科 柳谷 歩美

(青森北高校卒業)

看護師になるという夢の実現のために、この学校に入学し、今私はこれからの学校生活に期待と不安の気持ちでいっぱいです。学校の授業で学ぶ看護の基礎知識、技術の習得はもちろんですが、実習を通して豊かな感性と冷静な判断力を身につけたいです。そして、夢の実現のために日々、自己研鑽を積み、患者さんの心を理解し、ケアできる看護師になれるよう、毎日の授業・実習を大切に、充実した学校生活を送りたいです。

### 専攻科福祉専攻 竹林 美樹

(青森中央短期大学幼児保育学科卒業)

私は、介護福祉士になるという夢を抱き、専攻科福祉専攻へ進学しました。専攻科は1年間という短い期間ですが、授業や実習を通して介護技術を始めとする基本をしっかり学びたいと思っています。多くの利用者に関わり、たくさんの専門的知識を身につけていけるように一日一日を大切にしていきたいです。

利用者さんが満足でき、毎日笑顔で生活できるような介護を目指し、日々いろいろなことに挑戦しながら、一年間一生懸命頑張っていきます。





# 自分史

## 「支えられた子育て」

幼児保育学科 大沢陽子



夫の転勤で黒石の教員住宅で子育てをした。当時、5世帯の家族が入居しそれぞれ就学前の子ども達をかかえ、子ども同士と一緒に遊ぶことはもちろん母親たちも自然に子育てについての体験や悩みを語り共有しあうことができた。父親達は

みな高校の部活動の顧問として休日にも指導にあたり多忙ではあったが、試合に勝った時などには、そのお宅に各々が手料理を持ち寄りみんなで喜びを分かちあった。夏には大勢でファミリーキャンプに出かけ、星空を仰ぎながら親同士が遅くまで語り合ったこと、仕事で遅くなる私の代わりに保育園に迎えに行ってもらい助けられたことなど……。現在のような子育て支援がまだ整備されていない頃、自然なかたちでみんなが支えあった子育てにととても感謝している。



# 巣立ち

## 平成21年度 祝卒業・祝賀会

平成22年3月15日、第39回 学位記・修了証書授与式が瑞力館にて挙行された。食物栄養学科70名、幼児保育学科79名、看護学科80名、専攻科福祉専攻22名がそれぞれの目指す道に巣立っていった。学長からひとりひとり心をこめて学位記を手渡された瞬間、努力した学生生活への誇りと今後の社会人としての自覚を一層強くしたことだろう。

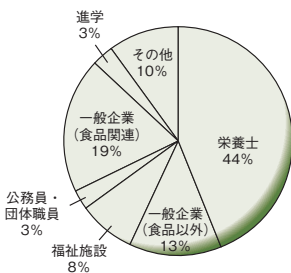
祝賀会は、来賓、教職員、ご家族が多数集い、盛大に開催された。心のもった祝賀会でにぎやかに別れを名残惜しむ姿は、教職員と学生との信頼関係が熱い本学ならではのといえる。卒業してもなお、巣立った卒業生を見守っていききたい。



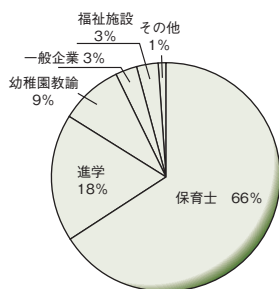
## 平成21年度 卒業生の進路

## キャリア支援委員より

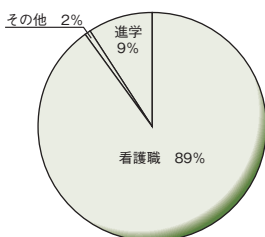
食物栄養学科



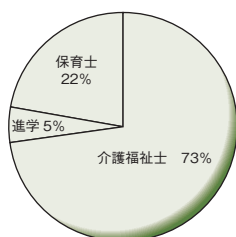
幼児保育学科



看護学科



専攻科福祉専攻



食物栄養学科では栄養士の就職率が44%と昨年度より増加し、調理、商品開発、編入等を合わせた食品・栄養関係で63%に達することができた。管理栄養士課程の進学は2名であり、県立保健大学にも2年連続の合格者を出すことができた。栄養士の就職先の4割強は日清医療食品を始めとする委託企業であり、この傾向は続くと思われる。また、公務員の2名がいずれも正規採用であるなど、健闘の成果を残せた。

幼児保育学科では、進路決定率が99%に達し、内79%が資格を活かした専門職へ就くことができた。また進学においても、本学の専攻科福祉専攻への進学のみならず、四年制大学への編入合格者を輩出するなど、学生のニーズに適ったキャリアサポートが実を結ぶ結果となった。

専攻科福祉専攻については学内で最も早期に100%内定を決めることができた。引続き、質の高い人材育成に力を注いでいきたい。

看護学科では、昨年と同様早期に確実な内定をとることができた。看護職としての就職者は(進学を除き)89%に達した。また、進学者についても昨年より倍増の7名に達し、助産師、保健師、養護教諭等を目指すこととなる。地元への貢献・定着についても、青森県内が72%、その他の東北5県が10%であり、8割以上が東北圏内で看護職としての貢献を果たすことができた。

いずれの学科も、たとえ求人は厳しくとも、早期から粘り強く挑戦を続ける学生が、結果として成果を得られるということを改めて確認できた一年であった。



# 附属第一・第二・第三幼稚園

## 教育方針 —健康で明るく心豊かな子ども—

- 友達と仲良く遊ぶ。
- よく見、よく聞き、よく考える。
- 思ったことははっきり話す。
- 自分のことは自分でやる。



### ◀ 特色ある保育内容の紹介 ▶



#### 英会話遊び保育

外国人講師によるゲーム・うた等の遊びを通して英会話をふれ、言語感覚や国際感覚を豊かにすることをねらいとしています。



#### リズム・体育遊び保育

豊かな感性や音感、リズム感を育てるために、身体表現を通して創造性の芽生えを育てます。また、健康な体づくりをするために遊具・ボール・なわとびなどの体育遊びを取り入れています。



#### 水遊び保育

水に親しみ、水に慣れることを通して友達と仲良く遊び、健康増進を図ります。また、生涯の楽しみにつながることをねらいとしています。



#### ことば・数遊び保育

ことばや文字に親しみを持たせ、言語の発達を援助するために、絵本の読み聞かせ・カルタ・文字ブロック遊び等を取り入れています。また、数に対する興味・関心をもとに、新しい数遊びを通して数や量についての感覚を育てます。

## 入園・進級おめでとう！みんな なかよし

### 附属第一幼稚園

青森市野尻字今田108番  
TEL (764) 2600



「赤い屋根と青い空♪」  
健康で明るい子どもをめざし頑張ります。

### 附属第二幼稚園

青森市三内字丸山16番  
TEL (782) 5665



広びろとしたお部屋で、遊びを通して学びの精神を大切に、成長を支援します。

### 附属第三幼稚園

青森市原別字袖崎9番  
TEL (726) 2112



四季の変化を楽しみ、笑顔いっぱいの明るい幼稚園をめざします。

- ・そろばん教室
  - ・英会話教室
  - ・水泳教室
- 開設のお知らせ

幼稚園の特色ある保育内容を生かし、さらに興味・関心のある園児・卒園児を対象に、これまで二つの教室を開設していました。

今年度から新たに水泳教室を開設することになりました。講師は全て外部からお招きし、三つの教室を楽しく進めて参ります。

各園によって曜日と時間が若干異なりますので、詳細については、各園にお問い合わせくださるよう、よろしくお願い致します。



そろそろ入園式の始まりです。電車になって入場です。頑張るからね。



担任の先生と一緒に不安な時間をすごしています。お母さんの姿を探して心もどきどきの新入園児たちです。



いよいよ入場～かわいい子どもたちが電車ならびで入場しました。



入園式では緊張がほぐれてみんなでアンパンマンの手遊びで楽しみました。でもやっぱり不安そうだね。



椅子にすわるのは慣れていないけれど、すわっているのです。なにが始まるのか、みんなきよるきよるしてやっぱり不安そうです。



在園児の歓迎のことばがじょうずでみんなうっとり。そのあと一緒に歌ったり踊ったりして楽しみました。



# 社会福祉法人 中央福祉会

## 浦町保育園

青森市中央三丁目21-4 TEL (734)7749



## 中央文化保育園

青森市幸畑一丁目27-1 TEL (738)5161



### 保育理念



「子どもが現在を最もよく生き、  
望ましい未来をつくり出す力  
の基礎を培うこと」



### 保育目標

一健康で明るく心豊かな子一

1. じょうぶで明るく元気な子
2. 人の話をよく聞ける子
3. 思いやりのある子
4. 約束を守る子
5. 自分のことは自分でできる子

## ともだちいっぱい！ たのしいほいくえん



(春、園外自由遊び)

広い園庭で元気に遊び、お花も植えます。



(夏、わふた祭り)

笛や太鼓、手振り鉦、一緒に踊って参加します。



(秋、国際芸術センター)

たくさんの草花・虫取りが楽しいです。



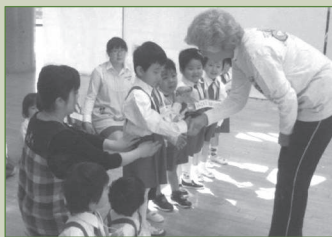
(冬、雪遊び運動会)

寒さにまけずに元気に遊びます。



(水遊び保育)

青森中央短期大学のあたたかい温水プールで、思い切り遊びます。



(英会話保育)

「Good morning」パーニー先生と英語で楽しく遊びます。



(わふた祭り)

たくさんのお友だちと一緒に「ラセラー！ラセラー！」と元気に参加します。



(保育参観)

家族のみなさんに来ていただき、にぎやかに一日をすごします。

# 青森中央文化専門学校／青森中央経理専門学校

## 入学式・オリエンテーション

平成22年4月10日入学式が行われました。新入生を代表して青森中央文化専門学校の荒内真美さん（青森県立青森西高等学校出身）が、「私は今日、青森中央文化専門学校の生徒としてこの場所にいられることをとても嬉しく思っています。」と夢に向かっての第一歩を踏み出しました。

また、4月12日、13日の両日、専門学校合同オリエンテーションが行われました。専門を活かした職業へ向けての授業内容、資格取得等についての説明を受け、同じ志を持つ出会ったばかりの学生同士、親睦を図りました。



## 公開講座「デコ リメイク」

青森中央文化専門学校では、平成22年3月27日公開講座「デコ リメイク」を開講しました。

手持ちのアイテムをベースに様々な色柄の布やレース、ボタンを使いデコレーションしました。

自分の服だけでなく愛犬の服、ヘッドアクセサリ作りを体験し、「個性的な着こなしができて、今までのファッションが楽しくなる。もっといろんなリメイクをしてみたい。手作り小物のバリエーションが広がった。」と自分だけのオリジナルリメイクの楽しさを感じてもらうことができました。



## 自分の未来像

私は進路を決める上で、自分の興味のあること、やりたいこと、そして卒業後のことも考え、この学校を選びました。

在学中はデザインやパターンメーキングなど、服づくりの基礎を身につけ、将来のため、自分のため、色々な分野の知識を得るために検定試験に挑戦してみたいと思います。

自分の感性や能力を高め、魅力のある作品づくりに活かせるように頑張ります。青森中央文化専門学校 1年 荒内 真美



私の目標は、金融機関に就職することです。そのためには、早いうちからたくさんの人と接点を持ち、自分の世界を広げていき、色々な経験を試してみることだと考えていますので、今から、一歩ずつ目標へと近づいていけるように努力していきたいです。そして、より具体的な目標を作れるように視野を広げていきたいです。

青森中央経理専門学校 1年 澤田 翼



## 進級者の意気込み

入学して一年が経ち、自分の将来について今まで以上に悩み考えるようになりました。

ジーンズのリメイクコンテストに応募し、実物制作などを通して感じたことは、服だけでなく文化や環境「今、その街が何をしなければいけないのか」ということでした。

これからも資格取得や技術向上に力を入れ、いろいろな経験をしていきたいです。

青森中央文化専門学校 2年 松谷 舞



入学してから早くも一年が経とうとしています。住む環境が変わり、慣れないことばかりでしたが、周りの人に支えられ充実した日々を送ることができました。

春からは就職活動が始まるので、目標にしている医療の現場で事務として就職するために積極的に取り組みたいです。

青森中央経理専門学校 2年 山本 美咲



## 卒業生 PICK UP

青森中央経理専門学校 平成19年度卒業

舘田 侑和 丸大堀内(株)

あなたは資格をお持ちでしょうか？

私は在学中いくつかの資格を取得しました。在学中はこんなもっていても実用的じゃない、将来の役に立ちそうもない…そんな考えでした。私が卒業後就職した先は学んだ事とは少し違う道でした。しかしその会社が合併する事になり私は行き場を無くしました。そんな時合併先の会社に『事務員として来ないか？』という誘いを受けました。何故私が？社会人としての経験も浅い、事務員としての仕事も未経験。私が出した答えは一つ。『資格』でした。履歴書に書いていた資格。それが私に進む道をくれました。あなたは資格をお持ちでしょうか？困った時にきつと力になってくれるはず。在学中が資格を取るチャンスだと思います。





# 新任教職員紹介

## 青森中央学院大学

### 地域マネジメント研究所



- ① 藤田 正一  
(ふじた まさかず)
- ② 秋田県
- ③ パブリック・マネジメント特論

④ 本学の建学の精神の旗の下、本学の教育・研究の更なる発展に微力ながらお役に立つよう努力していく所存です。



## 青森中央短期大学

### 食物栄養学科



- ① 水 珠子  
(みず たまこ)
- ② 島根県
- ③ 基礎調理学実習、調理学実習Ⅰ・Ⅱ、応用栄養学実習

④ 報告・連絡・相談がきちんと出来、皆様と共に職場づくりの一員となるよう励むことを誓います。どうかご指導を頂きますようよろしくお願い致します。

## 看護学 科



- ① 三田 禮造  
(みた れいぞう)
- ② 岩手県
- ③ 国際医療活動

④ 新入生が真面目に勉強し、3年後の国家試験と一緒に入学した仲間全員が合格するよう努力することを期待します。



- ① 鎌田 明美  
(かまた あけみ)
- ② 青森県
- ③ 地域看護

④ 保健師歴30年。看護職として働いていることが楽しくもあり、誇りでもあります。3年間で、地域看護に興味がでたらうれしい限り！



- ① 高森 美也子  
(たかもり みやこ)
- ② 青森県
- ③ 成人看護学など

④ 看護師になって約20年。様々な経験がしたくて青森を飛び出し、この度ご縁があって帰青しました。どうぞよろしく願い致します。



- ① 田中 栄利子  
(たなか えりこ)
- ② 青森県
- ③ 小児看護学領域

④ 4月1日より看護学科に着任することになりました。不慣れな面も多いと思いますが一步一步頑張っていきたいと思ひます。

## 事務局



- ① 古山 正英  
(こやま まさひで)
- ② 青森県
- ③ 国際交流

④ 青森県や本学の素晴らしさを世界に発信するお手伝いをしています。何事もベストでベターな仕事出来る様、日々精進して参ります。



- ① 野呂 香織  
(のろ かおり)
- ② 青森県
- ③ 国際交流

④ 留学生の学校生活のお手伝いや、国際交流に関する業務、またアジアからの修学旅行生の誘致も一生懸命取り組みたいと思ひます。



- ① 趙 智加  
(ちょう ちか)
- ② 青森県
- ③ 国際交流

④ 留学生のイベントや生活のサポート、また県によるグリーン・ツーリズム活動等を担当致しますのでよろしく願ひいたします。



- ① 明戸 裕治  
(あけと ゆうじ)
- ② 青森県
- ③ 総務課、硬式野球部監督

④ 野球というスポーツを通じて、社会に出ても恥ずかしくない人間の育成を目的とし、まずは一部昇格目指して頑張ります。



- ① 阿部 弘美  
(あべ ひろみ)
- ② 青森県
- ③ 学務課 看護学科事務

④ つい最近まで本学の学生で、3月に卒業したばかりですが、早く仕事の環境にも慣れ、先生方のサポートをしたいと思ひます。よろしく願ひします。



- ① 松野 直樹  
(まつの なおき)
- ② 青森県
- ③ 総務・経理

④ 本学に貢献できるよう、努めていきたいと思ひます。どうぞよろしく願ひいたします。

## 附属幼稚園・保育園

### 附属第三幼稚園



- ① 八木橋 ひろみ  
(やぎはし ひろみ)
- ② 秋田県
- ③ 園長

④ 園児一人一人の「よさ」を認め「可能性」を引き出しながら支援し、園児の瞳が生き生きと輝く笑顔いっぱいの園にしたいと思ひます。ご支援・ご協力のほどをよろしく願ひ申し上げます。



- ① 浜谷 麻美  
(はまや あさみ)
- ② 青森県
- ③ ひよこ組0・1歳児

④ ひよこ組のかわいい子ども達の成長を日々見ていられる事をとても嬉しく思ひます。私自身、子ども達と一緒に成長していきたく思ひます。よろしく願ひ致します。

### 中央文化保育園



- ① 日廻 正  
(ひまわり ただし)
- ② 岩手県
- ③ 国際交流会館管理員

④ 未来を担う方々の育成に少しでもお役にたてます様、これまでの経験を活かし、融和・合で取り組んでまいります。

## 青森中央短期大学開学40周年記念事業

### ●記念式典

日時 平成22年5月21日(金) 16:00~17:00  
会場 青森市民ホール

### ●記念演劇 SESSIONS ON THE ARTS 2010 一響感 アート交流地点一

開催日	会場	内容
5月21日(金) 18:30~	青森市民ホール	渡辺源四郎商店「修学旅行」

### ●記念講演

開催日	会場	講師/内容
6月12日(土)	本学	自治医科大学教授 水戸 美津子氏 「現在から未来へ～看護職はどこへ向かうのか」
7月17日(土)	県営スケート場	佐藤 弘道氏 第1部「ひろみちおにいさんの体操セミナー」 第2部「ひろみちおにいさんのすこやか！ のびのび！親子体操教室」
9月11日(土)	本学	旬ケアプロデュースRX組代表 青山 幸広氏 「その人らしさを引き出す本当の介護とは」

## 青森中央学院大学

### 公開講座 市町村村長リレー「人づくりと地域社会」

開催日	時間	講師
7月 7日(水)	13:00 ~ 14:20	秋田県八峰町長 加藤 和夫氏
7月14日(水)		青森市長 鹿内 博氏
7月21日(水)		三戸町長 竹原 義人氏

### 公開授業 現代社会論「明日に働く者の社会常識」

開催日	テーマ	講師
5月27日(木)	どうしたら地域のリーダーになれるか ～リーダーに必要な知識と能力～	佐藤 淳
6月 3日(木)	官僚システムにおける人事制度 ～天下りの実態と民主党政権の変革～	木村 良一
6月10日(木)	企業や社会を支える会計・経理人材の教育	菊地 和聖
6月17日(木)	期待が膨らむソーシャルベンチャー	鈴木 克成
6月24日(木)	社会の共通言語としてのIT～生活インフラ～	新免 圭介
7月 1日(木)	自助努力と社会保障～厳しい時代の発想転換～	小俣 勝治
7月 8日(木)	身近に広がる雇用格差	岩船 彰
7月15日(木)	経営者と人生の巡り合わせ	塩谷 未知
7月22日(木)	全体のまとめと「転職とキャリアデベロップメント」	内山 清

会場：学術交流会館 時間：16:10～17:40

### 留学生による会話教室（中国語・ベトナム語）

	時間	期間	回数
中国語	午後(18:30~19:30)	5月14日(金)~5月28日(金)	毎週火曜・金曜 全5回
ベトナム語	午後(18:30~19:30)	6月29日(火)~7月13日(火)	毎週火曜・金曜 全5回

会場：学術交流会館内 国際交流センター

### 海外留学プログラム

留学先	期間	内容
上海大学(中国)	8月2日(月)~8月27日(金)	夏期中国語研修プログラム
ベノブスコット語学学校(米国)	7月31日(土)~8月21日(土)	夏期短期語学プログラム
メイン州立南メイン大学(米国)	8月30日(月)~12月10日(金)	集中語学プログラム (TOEFL指導)
貿易大学(ベトナム)	平成22年8月~平成23年7月	交換留学プログラム

公開講座・催し物のお問い合わせ  
学校法人 青森田中学園 公開講座担当  
Tel: 017-728-0131 / Fax: 017-738-8333

編集委員	編集長	加藤 澄
中村實枝子	牧野 晴子	坪谷 輝子
中田 尋美	新免 圭介	高橋 佳子

## 青森中央短期大学

### クッキング

開催日	時間	内容
6月5日(土)	10:00~12:30	子どもの食品加工教室～ソーセージを作ろう！～

## 青森中央経理専門学校・青森中央文化専門学校

### 公開講座 青森中央経理専門学校

内容	対象
日商簿記検定3級取得支援講座	一般・本学園生
国内旅行業務取扱管理者試験対策講座	一般・本学園生

会場：学術交流会館 時間等詳細はお問い合わせ下さい

### 青森中央文化専門学校

開催日	内容	対象
6月19日(土)	大人のリメイク講座～眠っている服をアレンジ～	一般
7月31日(土)	秋冬2way ティアードスカート ～ペアワンピとスカートで楽しめる大活躍なアイテム～	中高校生

会場：学術交流会館 933教室 時間：10:00～15:00

## 青森中央短期大学附属第一・第二・第三幼稚園

### 公開保育 「思いつき水遊び」

開催日	内容
7月10日(土)	時 間：いずれも10:00~12:00 対 象：幼稚園就園前の園児と保護者 場 所：キャンパス内 室内プール
8月28日(土)	
9月 4日(土)	

## オープンキャンパス

時間：13:00~16:00

### 青森中央学院大学・青森中央短期大学

開催日	青森中央学院大学	青森中央短期大学
5月15日(土)	学部・要項説明、模擬授業等	「大学を知ろう」 大学総合案内
7月 3日(土)	学部・要項説明、模擬授業等	「入試特集」 学科・要項説明、入試対策
8月 6日(金)	学部・要項説明、模擬授業等	「短大の授業を体験しよう」 学科・要項説明、体験授業

### 青森中央経理専門学校・青森中央文化専門学校

開催日	青森中央経理専門学校	青森中央文化専門学校
5月15日(土)	カンタン仕事体験 ・経理事務コース	ファッショントレンド2010/ パターンメイキングを楽しもう
5月29日(土)	「FP(金融 保険等)」 ・医療事務コース 「医療事務(窓口・受付 レセプト作成等)」	ファッション業界のしくみ/ 発想力を磨く！ファッションデザイン術
6月12日(土)	・観光コンシェルジュコース 「観光業(観光業入門 時刻表を読もう等)」	ビジュアルMDに挑戦！/ ロックミシンで作るヘッドアクセサリ
7月 3日(土)		旬な秋冬スタイリング/ ベーシッククローズ～レギンス～
7月24日(土)	カンタン仕事体験 経理事務 (財務諸表・原価計算)	ミニファッションショー
8月 6日(金)	カンタン仕事体験 ・経理事務コース 「FP(税金 不動産等)」 ・医療事務コース 「医療事務(カルテを読もう 薬のアレ・コレ等)」 ・観光コンシェルジュコース 「観光業(旅行業法 運輸等)」	ファッションコーディネート術/ プラスONEアイテム～コサージュ～